

令和5年度「幸福について考えるワークショップ」における意見等について

1 開催目的

いわて県民計画（2019～2028）の推進に向け、県民に「幸福」について考える機会を提供するとともに、ワークショップを通じて県民の幸福感に関する意識を把握し、政策評価等に活用する。

2 対象とした分野別実感

- ① 子育て
- ② 地域の安全

3 ワークショップの開催状況等

（1）ワークショップの開催状況

	開催日	開催地域	参集者	
			人数	備考
第1回	6月8日	県南 (西和賀町)	8名 (男性5名、 女性3名)	町議会議員、自営業、集落支援員等
第2回	6月22日	県央 (葛巻町)	12名 (男性10名、 女性2名)	団体職員、自営業、地域おこし協力隊等
第3回	6月26日	県央 (盛岡市)	20名 (男性8名、 女性12名)	学生
第4回	6月28日	沿岸 (大槌町)	11名 (男性7名、 女性4名)	自営業、地域おこし協力隊、団体職員等
第5回	7月8日	県央 (矢巾町)	23名 (男性18名、 女性5名)	自営業、パートタイマー、自治会役員、自治体職員
第6回	7月10日	県央 (盛岡市)	20名 (男性13名、 女性7名)	自営業、会社員、学生、主婦等
第7回	9月1日	県北 (二戸市)		

※ 9月以降に2回程度の開催を調整中

(2) ワークショップにおいて出された意見等

① 子育て

会 場	分野の具体的なイメージ	考えられる解決策・自分ができること
第5回 矢巾町	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育園の待機児童はいない。幼稚園や保育園は多いと思う。(40代:女性) ・ 町中に近いところは新住民も増え、子どもが多い。(60代:男性) ・ 医大移転、県立高校も有り教育環境は良いと思う。学習塾なども増えているが、経済的負担も増えている。(40代:女性) ・ 医大移転後の市街地整備が進んでおり、日常生活の不便はあまり感じない。(20代:女性) ・ 比較的世代交流事業(夏祭り、BBQ、廃品回収等)が盛んに行われている。(50代:男性) ・ 高校生まで医療費が無料だったり、環境には恵まれている。(30代:女性) ・ 病児保育があれば助かる。(30代:女性) ・ 企業(職場)の育児休暇に対する意識、環境がまだまだ整っていないと感じる。(30代:男性) ・ 盛岡が近いので、進学しても通いやすいと思う。(50代:男性) ・ 児童館が満員なので小学校中学年になると居場所の選択が少ない。(40代:女性) ・ 町の子育て制度のPRが少ない。知らないで損しているかもしれない。(40代:女性) ・ 子供会役員は比較的地域と関わるが、親同士の交流が少なく、関係が深まらない。(50代:男性) ・ 自然には囲まれているが、子どもが自由に遊べる公園が少ない。(30代:女性) ・ コロナ禍だったので、子ども同士の交流も、親同士の交流も殆どなかった。(40代:女性) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 企業内保育事業の推進(20代・女性) ・ 子どもから高齢者まで参加し易い地域行事の実施(70代:男性) ・ 学校と役場の連携促進(30代:女性) ・ 新たに引っ越してきた方に、こちらから声かけしていく。(60代:男性) ・ スクールガードに専門性のある方を依頼する。(70代:男性)
第6回 盛岡市	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高校生までの医療費補助は助かった。(50代:女性) ・ 歴史、街並みなど文化的要素に恵まれていると思う。(50代:男性) ・ 中心部はコンパクトなので、生活するには特に困らない。(30代:男性) ・ 塾に通わせてもらっているので感謝している。(10代:女性) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 給付型奨学金が増えてほしい。やはり就職時に借金となるのは不安である。(10代:男性) ・ 文化的なイベントが岩手でもあれば嬉しい。(10代:女性) ・ お仕事体験はじめ、さ

会 場	分野の具体的なイメージ	考えられる解決策・自分 ができること
	<ul style="list-style-type: none"> ・ キャリア教育が浸透しているのか、中高生と職業について話す機会が増えている。(50代：女性) ・ 就職（仕事選択）、生き方など大人のロールモデルを見つけにくい。(10代：女性) ・ 学校、家以外の勉強する場所がほしい。席確保の競争率が高い。(10代：男性) ・ 困らないが、もっとおしゃれなお店などがあると嬉しい。(10代：女性) ・ 親の経済状況によっていろいろと経験できることに違いあると感じる。(10代：男性) ・ 県外に進学する場合、親の負担を考えてしまう。(10代：女性) ・ 協力力というか刺激を得る機会が少ない。(20代：女性) ・ 若者支援といっても、実際当事者の意見を聞く機会が少ないと実感した。(30代：男性) ・ 共働きが増えているが、やはり母親への負担はなかなか減らない。(40代：女性) ・ 指定教科書を購入できる店を増やしてほしい。(10代：男性) ・ 通学時間帯のバスの本数が減った。(10代：女性) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ まごまな体験ができる機会を提供する。(30代：男性) ・ 学校を越えて高校生が集まって何かを企てる機会、場所がほしい。(10代：女性) ・ 地域の中で大人と交流できるイベントを企画、実施していく。(50代：男性) ・ もっと、当事者である若者と話す機会を持ちたい。(20代：女性) ・ 面白い情報も、役立つ情報の発信力を強めていくことが必要だと思う。(50代：女性)

② 地域の安全

	低下したと考えられる具体的なイメージ	考えられる解決策・自分ができること
第5回 矢巾町	<ul style="list-style-type: none"> ・ 比較的自然災害が少なく安心して生活している。(70代：男性) ・ 河川の拡幅工事が完了した。(60代：男性) ・ 小学校では3年生を対象として自転車教習を行っている。(30代：女性) ・ 自治会内で防災訓練を実施している。(70代：男性) ・ 通学時、スピード超過の運転者が多く、交通事故発生が懸念される。(50代：男性) ・ 特に奥羽山脈沿いの道路は、冬の凍結が多く危ないし、除雪が追いつかない時がある。(30代：男性) ・ 空き家も増え、ゴミ屋敷化など不安要素が増えている。(40代：女性) ・ 熊はもちろん、イノシシやタヌキなど獣害対策ができていないと思う。(50代：男性) ・ 防災訓練への参加者が少なく、固定化している。(70代：男性) ・ (災害が少ないためか) 防災意識が低いと感じる。(60代：男性) ・ スマートインターができて、交通量が増加するとともにゴミのポイ捨ても増えた。(60代：男性) ・ JA ガソリンスタンドより西側が暗い。外灯がない。(60代：男性) ・ 交通量が増え、歩道の整備が求められる。(70代：男性) ・ スクールガードをしているが、次のなり手がいない。(70代：男性) ・ 広範囲な地域なので、学校まで徒歩、自転車通学が大変。また保護者の送迎も多く、通学時間の混雑の要因の一つだと思う。(30代：女性) ・ 不審者案件もある。道路等の監視カメラの設置が必要だ。(60代：男性) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ スクールガードと交通指導員の連携がもっと必要である。(現在もあるが)(70代：男性) ・ 自転車の乗り方を学ぶ機会をつくっていく。(40代：女性) ・ 故障がないように防犯灯の定期点検をする。(60代：男性) ・ 道路の表示をクリアに線の引き直しをする。(50代：男性) ・ ゾーン30プラスの導入に向けた働きかけをする。(60代：男性) ・ 運転者に注意喚起する取組を考えていく。(30代：男性)
第6回 盛岡市	<ul style="list-style-type: none"> ・ 雪かきなど地域で取り組む仕組みがある。(50代：女性) ・ 集団登校があって安心できる。(40代：女性) ・ 避難場所がどこなのかわかっている。(10代：男性) ・ 近くに病院もあるし、買い物も困らない、生活しやすいと思う。(20代：女性) ・ 自転車専用道路があるルートは安心できる。(10代：男 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 冬季間、雪道の送迎は必要だと思う。(10代：男性) ・ 学校で自転車教習などあれば良いのではないかな。(10代：女性) ・ 地域の活動に中高生も関わる仕掛けをして

	低下したと考えられる具体的なイメージ	考えられる解決策・自分ができること
	<p>性)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 幸い空き家が殆どない。(30代：男性) ・ 部活や塾帰りが遅くなっても、外灯があるので安心する。(10代：女性) ・ 道路、歩道の除雪がされていない。(遅い)。(10代：男性) ・ 住宅街でもスピードを出す車が多く、小さい子供連れや高齢者は危ない。(40代：女性) ・ 住んでいる場所柄、北上川の氾濫が不安である。特に最近豪雨災害が多いので。(50代：女性) ・ 街中でも熊の出没が増えている。(10代：女性) ・ 学校周辺での不審者案件があるので、親に送迎してもらっている。(10代：女性) ・ 地域によっては、外灯が偏在している。(50代：男性) ・ 除雪後の雪が道路に出される。排雪作業が追いつかない。(50代：男性) ・ 自転車運転者のマナーが悪くなっている。ながら運転、スピードなど。(50代：女性) 	<p>いきたい。(30代：男性)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 防犯に対する意識啓発、学ぶ機会を提供する。(20代：女性) ・ 地域の避難訓練に参加してみる。(10代：男性) ・ 危ない箇所に看板を立てるなど、お知らせする。(10代：女性) ・ 子どもと一緒に地域活動に参加することで、地域のつながりをつくる。(40代：女性) ・ 様々な世代で地域のことを話し合う機会をつくっていく。(50代：女性)